



平成 25 年 9 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 25 年 8 月 13 日

上場会社名 株式会社ユーグレナ 上場取引所 東
 コード番号 2931 URL <http://www.euglena.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 出雲 充
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略部長 (氏名) 永田 暁彦 (TEL) 03(5800)4907
 四半期報告書提出予定日 平成 25 年 8 月 14 日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 25 年 9 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25 年 9 月期第 3 四半期	1,396	—	74	—	148	—	412	—
24 年 9 月期第 3 四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25 年 9 月期第 3 四半期 412 百万円 (—%) 24 年 9 月期第 3 四半期 ー百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25 年 9 月期第 3 四半期	32.29	29.67
24 年 9 月期第 3 四半期	—	—

※1. 平成 25 年 9 月期第 2 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 24 年 9 月期第 3 四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、平成 25 年 4 月 1 日付で株式 1 株につき 5 株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して 1 株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25 年 9 月期第 3 四半期	3,134	2,489	79.4
24 年 9 月期	—	—	—

(参考) 自己資本 25 年 9 月期第 4 四半期 2,489 百万円 24 年 9 月期 ー百万円

※平成 25 年 9 月期第 2 四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成 24 年 9 月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24 年 9 月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25 年 9 月期	—	0.00	—	—	—
25 年 9 月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 25 年 9 月期の連結業績予想 (平成 24 年 10 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,055	—	134	—	225	—	445	—	34.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社 (社名) 八重山殖産株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	13,701,500株	24年9月期	10,777,500株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	一株	24年9月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	12,790,042株	24年9月期3Q	一株

※当社は、平成25年4月1日付で株式1株につき5株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。なお、当社グループは、当第2四半期連結累計期間から四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。また、平成25年3月27日付で八重山殖産株式会社株式を追加取得し子会社化しておりますが、第2四半期連結累計期間の末日をみなし取得日として四半期連結財務諸表を作成しているため、八重山殖産株式会社の平成24年10月1日から平成25年3月31日までの業績は含まれておらず、当社グループの連結決算へ八重山殖産株式会社の業績が反映されているのは当第3四半期連結会計期間からとなります。

業績の状況

当第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日～平成25年6月30日）におけるわが国の経済は、欧州の債務問題の長期化や、中国経済の成長率の鈍化等、取り巻く環境は依然として不安定な状況にあるものの、新政権の経済政策への期待から為替の円安基調と株価回復の傾向が続き、景気回復の兆しが見えてまいりました。

当社の主力事業であるヘルスケア業界は、健康と美容に対するニーズに底堅いものがあり、高齢化に伴う医療費負担の増加を背景に「セルフメディケーション」に対する意識の高まりや、美容・アンチエイジング素材やエイジングケア素材の台頭があり、当面堅調な需要が期待できる状況にあります。

このような事業環境のもと、当社では、食品、化粧品素材としての「ユーグレナ（和名：ミドリムシ）」の知名度の向上に努め、ヘルスケア製品の販売を積極的に推進するとともに、「ユーグレナ」を利用したバイオフィームなどの化成品、バイオ燃料の開発、低コスト化へ向けた「ユーグレナ」自体の改良技術に関する研究開発活動を継続しました。

セグメント別に見ると、ヘルスケア事業においては、これまでの主要販売ルートであったOEM供給に加え、高利益率の自社製品販売の強化を主目的とし、自社ECサイトおよび自社ブランドの「ユーグレナ・ファーム」の知名度の向上のための広告宣伝活動及び自社製品の販売体制の強化に努めてまいりました。その結果、自社ECサイトの定期顧客数は、当第3四半期累計期間の末日現在において期首に対し7倍に増加し業績に貢献しております。一方、第1四半期より計上予定であった化粧品関連の売上が遅延し、第4四半期での計上見込みとなっております。また、当社グループ会社の八重山殖産株式会社が製造販売する微細藻類の一種「クロレラ」の食品向け販売は堅調を維持しております。その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループのヘルスケア事業の売上高は1,391,975千円、セグメント利益は344,966千円となりました。

エネルギー・環境事業においては、受託研究による売上を計上しておりますが、「ユーグレナ」によるバイオ燃料開発などの研究開発費の計上等により、当第3四半期連結累計期間は、売上高は4,709千円、セグメント損失は82,403千円となりました。また、当第3四半期連結累計期間において、文部科学省所管の独立行政法人科学技術振興機構が実施する「戦略的創造研究推進事業」から1件、経済産業省所管の独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が実施する「戦略的次世代バイオマスエネルギー利用技術開発事業」から2件、経済産業省が実施する「戦略的基盤技術高度化支援事業」から1件、計4件の助成金を受けており、営業外収益として77,470千円を計上しております。なお、当第3四半期連結累計期間において公表可能な研究開発の進捗は以下の通りです。

- ・平成24年10月、「ユーグレナ」の生産技術の向上や品質の改良、バイオ燃料開発の促進を図るため、沖縄県石垣市の八重山殖産株式会社敷地内に生産技術研究所を開設。
- ・平成24年12月、平成24年度バイオマスエネルギー関連事業成果報告において、「屋内大量培養設備における目標培養速度の達成」「目標油脂含有率の達成」「増殖速度および油脂含有量の飛躍的向上をもたらす因子探索を目的とした炭素代謝経路の解析の完了」を発表。
- ・平成25年5月、「ユーグレナ由来のパラミロンを有効成分とするパラミロンフィルムによる創傷治療剤としての効果」を発表。
- ・平成25年6月、「光合成活性が高く、油脂を高生産するスーパーユーグレナを開発するためのユーグレナの形質転換技術の確立」を発表。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,396,685千円、営業利益は74,972千円、経常利益は148,031千円となり、八重山殖産株式会社の子会社化にあたり、負ののれん発生益322,212千円を特別利益に計上し、四半期純利益は412,940千円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各四半期の業績推移は以下の通りです。

	第1四半期会計期間 (単体)	第2四半期会計期間 (単体)	第3四半期会計期間 (連結)	第3四半期累計期間 (連結)
売上高	388,821千円	437,945千円	569,919千円	1,396,685千円
営業利益	21,129千円	22,354千円	31,489千円	74,972千円
経常利益	18,494千円	44,399千円	85,139千円	148,031千円

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

八重山殖産株式会社を子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,134,758千円、純資産は、2,489,303千円となりました。この結果、自己資本比率は79.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想につきましては、第4四半期より化粧品製品の販売、納品が決定しており、また自社製品の販売量の増加が見込まれております。これにより平成25年5月14日の「連結決算開始に伴う連結業績予想の公表及び個別業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成25年3月27日付で、八重山殖産株式会社株式の追加取得により子会社化いたしました。これにより当社グループは当社及び子会社1社により構成されることとなりました。

当社は、八重山殖産株式会社を子会社化することにより以下の効果を見込んでおります。

- ・当社の研究成果、培養技術をより積極的に生産現場に投入することによる、ユーグレナの生産コスト低減、増産の効率化の実現。
- ・増加しているユーグレナの需要に伴い発生する設備投資などの資金ニーズに対し、柔軟に当社が資金提供できる体制の実現。
- ・八重山殖産株式会社の持つ設備、ノウハウや遊休資産を、バイオジェット燃料を中心とした研究課題に活用することによる研究開発の加速。
- ・他地域での新たな生産拠点の建設時における、八重山殖産株式会社が有するノウハウの活用。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社グループは、法人税法の改正に伴い、当第2四半期連結累計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
 (平成25年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,677,034
受取手形及び売掛金	297,444
商品及び製品	185,663
原材料及び貯蔵品	125,789
繰延税金資産	20,487
その他	22,509
貸倒引当金	△6,435
流動資産合計	2,322,494
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	132,980
機械装置及び運搬具	61,393
工具、器具及び備品	28,697
土地	578,510
建設仮勘定	12,757
減価償却累計額	△82,038
有形固定資産合計	732,301
無形固定資産	
その他	29,183
無形固定資産合計	29,183
投資その他の資産	
差入保証金	43,365
繰延税金資産	7,213
その他	200
投資その他の資産合計	50,779
固定資産合計	812,264
資産合計	3,134,758

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(平成25年6月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	83,187
1年内返済予定の長期借入金	22,272
未払金	95,011
未払法人税等	8,119
賞与引当金	9,754
その他	39,658
流動負債合計	258,004
固定負債	
長期借入金	204,064
退職給付引当金	7,808
資産除去債務	8,906
繰延税金負債	164,770
その他	1,902
固定負債合計	387,451
負債合計	645,455
純資産の部	
株主資本	
資本金	914,552
資本剰余金	814,552
利益剰余金	760,199
株主資本合計	2,489,303
純資産合計	2,489,303
負債純資産合計	3,134,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	1,396,685
売上原価	633,767
売上総利益	762,917
販売費及び一般管理費	687,945
営業利益	74,972
営業外収益	
受取利息	536
助成金収入	77,470
その他	7,602
営業外収益合計	85,609
営業外費用	
支払利息	1,263
株式交付費	10,928
その他	358
営業外費用合計	12,550
経常利益	148,031
特別利益	
負ののれん発生益	322,212
特別利益合計	322,212
税金等調整前四半期純利益	470,243
法人税、住民税及び事業税	67,723
法人税等調整額	△10,420
法人税等合計	57,303
少数株主損益調整前四半期純利益	412,940
少数株主利益	—
四半期純利益	412,940

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	412,940
四半期包括利益	412,940
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	412,490
少数株主に係る四半期包括利益	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成25年1月21日を払込期日とする第三者割当による新株発行により、当第3四半期連結累計期間において資本金、資本準備金がそれぞれ62,560千円増加し、新株予約権の行使により資本金、資本準備金がそれぞれ342千円増加しております。この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が914,552千円、資本準備金が814,552千円となっております。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自平成24年10月1日 至 平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ヘルスケア事 業	エネルギー ・環境事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,391,975	4,709	1,396,685	—	1,396,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,391,975	4,709	1,396,685	—	1,396,685
セグメント利益又は損失 (△)	344,966	△82,403	262,563	△187,590	74,972

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△187,590千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。